

鹿市医郷壇



504 樋口一風選

兼題「元氣(げんき)」

天

伊敷支部 谷山五郎猫

直きじゃちボーナス前な出元氣
 (唱) 何ゆば買をかち最早腹積もい
 (評) あと一月もしないうちに、待望の
 ボーナスが出ます。サラリーマン家庭に
 ボーナスはカンフル剤のようなものでしょ
 う。家計の穴埋めに、欲しかった品物に
 と夢が膨らみます。
 十一月にグッドタイミングな句です。
 狂句には季語は必要ないが、季節を外れ
 ると、句に新鮮味がありません。時季に
 合った句を読めばしっくりいきます。

地

飛脚子一郎

暇じゃつで元氣じゃつどん医院しえ通つ
 (唱) 良か友達も来つ楽し待合室
 (評) 昔、田舎に評判の良い病院があり
 ました。院長さんの人気でお年寄りが沢
 山来ていました。あら、さんは、今日
 は来ないのと言つと、あの人は足が痛く
 て来れないそうよ、などと話していまし
 た。その待合室は年寄りのサロンのよ
 うでした。
 この句にそれを思い出し、まさに医は
 仁だ。

人

清滝支部 鮫島爺児医

転ろだどん元氣い走しつ兎い拍手
 (唱) ゆ頑張つたがち爺が抱つしめつ
 (評) 幼稚園でしようか、それとも小学
 校の運動会の風景でしょう。転んでも起
 き上がつて、泣きべそを作りながら一生
 懸命に走る子供を見ると感動します。
 もう少し上級生や中高生になると、不
 貞腐れて走るのを止めたりしますが、子
 供は純粹です。我が子でなくても大拍手
 です。

五客一席 伊敷支部 谷山五郎猫

オリバラい元氣を貰るたコロナ鬱
 (唱) あん衆を見れば俺も頑張るち

五客二席 上町支部 吉野なでしこ

疲るっどん孫ん世話やき元氣なつ
 (唱) 油断もならじ氣を遣こ子守

五客三席 紫南支部 加治屋犬好

我がもじゃが家族ん元氣が氣いかかっ
 (唱) 皆健しゅが親父ちゃんの願げ

五客四席 紫南支部 二軒茶屋電停

夫婦喧嘩け女房がはつ出つ空元氣
 (唱) 内心は寂して歌どん唄とつ

五客五席 清滝支部 鮫島爺児医

歳す取つた友人の電話い貰る元氣
 (唱) 汝いな負けんち何いでん競つ

日は新嘗祭だが、娘さんなど、神様より
 先に新米のご飯が食べられた、幸せな生
 き神様であろう。

秀逸

清滝支部 鮫島爺児医

空襲を元氣に逃げつ今があつ
 コロナ騒動元氣な内に予防注射
 歳す取れあ元氣でコロナ逝こち願げ
 八十六歳じゃつて元氣で今日もゴルフ
 好かん株ぶ売つた後かあ元氣出つ
 暑か夏ちゃ元氣泳よつ後ちゃビール

上町支部 吉野なでしこ

蝦蟇好つの娘ボクサーい貰る元氣

伊敷支部 谷山五郎猫

採血の結果あ悪いて空元氣

紫南支部 加治屋犬好

健康食品元氣きなつよな氣いさせつ

飛脚子一郎

皺ん手い元氣を送つ小まんか手

薩摩郷句鑑賞 143

薩摩狂句曆

三條風雲児著

にわか客き鍋は掛けたが何も無し

原口 健志

予告なしに、ひよっこりやつて来た珍
 客に、「まあまあ、お久しぶりでございま
 せんか。丁度主人もおりますので、さあ
 どうぞ」と気さくに話し入れたのである。
 そして、とりあえず鍋をかけたものの、
 煮て出せそうなものが何も無かつたので
 ある。ちよつと出れば店があるような所
 ならともかく、近くに店のない田舎だと
 困つてしまつたろう。えてして、何もな
 い時に客が来るものである。
 新米を搗た頃をみて里戻い

吉満古参岳

稲の取入れも終わり、新米を搗くころ
 を見計らつて里帰りの時は、街へ嫁い
 だ農家の娘であろう。田植えの時は茶沸
 かしの手伝いをした程度だつたが、親と
 はありがたいもので、きつと米のほかに、
 味噌や野菜まで持たしたに違いない。今

薩摩郷句募集

新年号

題吟 「門松(かどまつ)」

締切 令和3年12月4日(土)

2号

題吟 「厄払れ(やつぱれ)」

締切 令和4年1月7日(金)

選者 樋口一風

漢字のわからない時は、カナで書い
 て応募くだされば選者が適宜漢字を
 あててくださいます。

応募先 千八九二・〇八四六

鹿児島市加治屋町三番十号

鹿児島市医師会 鹿児島市医報 編集係

TEL 〇九九・二二六・三七三七

FAX 〇九九・二二五・六〇九九

E-mail: ihou@city.kagoshima.med.or.jp